



まさゆめ

ハレノワ創造プログラム

作・演出 松井周



石川佳代

井上洋子

小川隆正

今栄敬子

竹居正武

山田浩司

荒木知佳

篠崎大悟

菅原直樹

久保井研

申瑞季

2024年11月29日(金) - 12月1日(日) 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場

終点 まさゆめ

少し先の未来。

ちようどいいサイズの欲望をちようどよく叶えてくれる惑星「まさゆめ」。そこで人生最後の日々を過ごすようにするために、宇宙船に乗り込んだ7人の高齢な乗客たち。突然のハプニングにより宇宙船はそのままだと「まさゆめ」に辿り着けない。そこで船長の提案により、乗客1人を船から降ろすことになった。どうやら乗客同士の会議で決めるという。

人生の終盤に入った彼らにとってこの会議はどのような意味を持つのか？



出演

久保井研

菅原直樹

申瑞季

篠崎大悟

荒木知佳

オーディションキャスト

石川佳代

井上洋子

今栄敬子

小川隆正

竹居正武

山田浩司

ドラマタージュ

谷澤拓巳

音楽

宇波拓

舞台美術

森純平

照明

志賀耕太

音響

中山奈美

衣装

余傳莉彩

舞台監督

河内崇

ハレノワ創造プログラム

蜷川幸雄が創設した高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」に、松井周が書き下ろした『聖地』は、初演から14年の時を経て、新たな作品『終点 まさゆめ』に生まれ変わります。

安楽死法が施行された近未来、社会に居場所を失った高齢者たちの怒りや悲哀が描かれた『聖地』。2021年、コロナ禍で上演中止となった改訂版『聖地2030』では、議論しながら劇を進行させていく手法で観客を虚構と現実の間にいざない、「老い」「死」のあり方を切実に問いかけてきました。本作には、介護×演劇の第一人者である菅原直樹が出演・演出協力に加わり、さらに岡山・三重・埼玉のオーディションで選ばれた65歳以上のキャストも参加。こうしたプロセスを経て、高齢者演劇のその先を目指す。ハレノワとアーティストが協働するクリエイション「ハレノワ創造プログラム」第一弾。

作・演出 松井周「サンプル」主宰
演出協力 菅原直樹「老いと演劇」OIBokkeShi主宰

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場
2024年11月29日(金) - 12月1日(日)

	11/29(金)	11/30(土)	12/1(日)
14:00		★	★
18:30	★		

開場:30分前

料金 全席自由 / 税込
一般 3,000円 U-24 2,000円

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス

窓口・電話 086-201-2200 (年末年始を除く10:00-18:00)
オンラインチケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/oacaticket/pt/>



岡山シンフォニーホールチケットセンター

窓口・電話 086-234-2010 (休館日を除く10:00-18:00)

ぎんざやプレイガイド

窓口・電話 086-222-3244
(平日 10:00-18:30 / 土・日・祝 9:30-17:00)
※ぎんざやプレイガイドではU-24の取り扱いはありません。

【注意事項】未就学児の入場はご遠慮いただいております。*U-24は公演時24歳以下の方が対象。入場時要身分証提示。岡山芸術創造劇場ボックスオフィス及び岡山シンフォニーホールでのみ取扱い。*車いすで鑑賞をご希望のお客様は、ご案内できるスペースに限りがあるため、事前に岡山芸術創造劇場ボックスオフィスまでお問い合わせください。*公演中止または主催者がやむを得ないと判断する場合は、チケットの払い戻しはいたしません。*チケット購入後のキャンセル・変更はお受けできません。*営利目的でのチケット購入ならびに転売は固くお断りいたします。*開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。ご了承ください。

【公演にあたって】やむを得ない事情により、公演内容・出演者が変更になる場合がございます。*クロークおよび託児サービスは行ってありません。*お客様用の駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

ツアー公演

三重公演 三重県文化会館 小ホール
2024年12月21日(土) - 12月22日(日)

埼玉公演 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
2025年1月11日(土) - 1月13日(月・祝)

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス

〒700-0822 岡山市北区表町3丁目11番50号
TEL 086-201-2200 (年末年始を除く10:00-18:00)
FAX 086-201-8004
<https://okayama-pat.jp/>

お問合せ

主催・製作 | 公益財団法人岡山文化芸術創造 共催 | 岡山市助成 | 一般財団法人地域創造 / 芸術文化振興基金助成事業



儀式のように始まるこの再現劇は、一体どこにたどり着くのか？